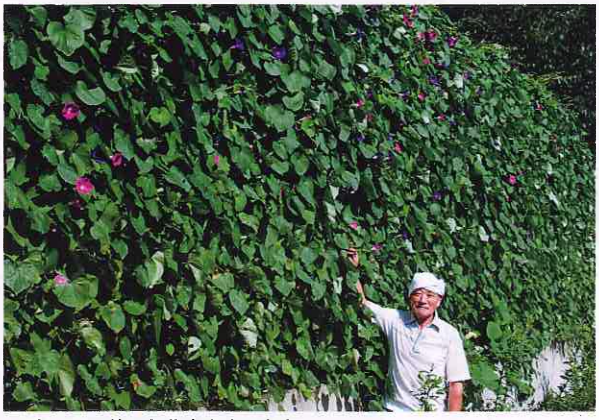
広報いいたて No.527 2007.9.5

8/21 壁一面の朝顔に笑顔

久保曽の北山さん



▲壁一面に咲いた北山さんの朝顔

飯樋久保曽の北山初夫さん宅で、たくさんの朝顔が可憐な花を咲かせました。

北山さんは朝顔を増やそうと、縦2.5㍍、横10㍍ほどの支柱を組み立て、そこに120株の苗を植えました。これまで2年間は鉢植えをしていましたが、茎が高く伸びなかったことから、今年は初めて野地植えにしたところ、支柱の上まで高く伸びました。

北山さんは、この他にも庭や遊休農地に水芭蕉や木蓮をはじめたくさんの花木を植えるなど美しい景観づくりに励んでおり、「水かけなど管理は大変ですが、これからも庭や山などに色々な花木を植えて増やしていきたい」と笑顔で話しています。

震災対策一口標語

いつも用心
地震の不意打ちに 備える心

火災・救急情報

7月の出動 火災 0件(1月からの累計 5件)
救急20件(1月からの累計154件)

8/20 被災地へ義援金

7月16日に発生した新潟県中越沖地震で被災された方々を支援するため、村婦人会では、会員から義援金を集め、日本赤十字社福島県支部飯舘分区へ届けました。

役場を訪れた上田秀会長と西尾ツネ副会長は、会員から寄せられた義援金138,362円を、日本赤十字社飯舘分区長の菅野村長へ手渡しました。

日本赤十字社福島県支部飯舘分区には、このほか、村職員（嘱託・臨時職員含む）と、社会福祉協議会職員から合わせて131,500円の義援金が届けられました。

義援金は、災害で生命・財産に大きな被害を受けた方々に対する慰謝激励の見舞金の性格を持つもので、今回届けられた義援金は、日本赤十字社福島県支部を通して被災地へ届けられます。

▲菅野村長へ義援金を手渡す上田会長（写真中央）と西尾副会長（写真右）

あとがき

来月から粗大ごみが有料化になります▽取材のため久し振りにクリアセンターへ行きましたが、以前は深かった処分場の底が随分と浅くなっていました。そこへ次々と運ばれてくる大量の「もやさないごみ」や「粗大ごみ」▽環境省が今年4月に発表した、一人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村（17年度）で、本村が全国6位にランクされましたが、処分場に搬入されるごみは数字以上に多く感じました▽今回の粗大ごみ有料化を一つの契機として、今後さらに分別やリサイクルなど「まで い」な取り組みを進めましょう。

第五二七号 平成十九年九月五日発行（毎月五日発行）●発行／飯舘村 ●編集／総務課広報委員会 〒九六〇・一八九二 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢五八〇番地一 ☎〇二四四・四二・一六一三 印刷 ㈲ライト印刷

R100 広報いいたて は再生紙を使って作られています